

5. 安全・安心な生活 ①交通安全対策の充実

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆☆
環境生活部長 (田畑吉隆)	令和3年の交通事故死傷者数は前年の283人から262人、交通事故死者数は前年の12人から4人となり、全国ワースト2位から68位となりました。地域や行政、警察等関係機関が一体となって連携し、様々な交通安全対策に取り組んできたことが、ワースト上位脱却につながったものと推測されます。	
	▲ <令和3年度 実行宣言> 交通死亡事故ワースト上位脱却、犯罪のない安全・安心なまちをめざします。	
	令和4年度 実行宣言	
	交通事故死傷者数の減少傾向を維持するとともに、交通事故死者数全国ワースト順位では前年の68位以上を目指し、関係機関が連携し様々な交通安全対策に取り組みます。	

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆☆
建設部長 (伊藤篤)	安全で快適な生活空間の維持管理向上のため、地域住民要望に対応した道路反射鏡、防護柵、区画線などの交通安全施設整備工事を実施し交通安全対策の充実を図りました。	
	▲ <令和3年度 実行宣言> 安全で快適な生活空間の維持管理に努めます	
	令和4年度 実行宣言	
	地域内の通学路と生活道路について、国庫補助制度をうまく活用し一体的な整備に取り組みます。	

施策の進捗状況

数値目標 ① 【評価】 環境生活 部長	項目	交通事故死傷者数（1月～12月）				目標種別	↷
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	323 人	312 人	301 人	289 人	
	実績	334 人	283 人	262 人	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	交通事故死傷者数を減少させるため、地域、関係機関、行政が一体となって、様々な交通安全啓発活動に取り組みます。						

数値目標 ② 【評価】 環境生活 部長	項目	交通マナーが悪いと感じる市民の割合				目標種別	↷
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	38.7 %	35.8 %	32.9 %	30.0 %	
	実績	41.6 %	— %	38.3 %	—	—	
	評価	—	—	C	—	—	
今後の方針	「ハンドサインキャンペーン」、「まもってくれてありがとう運動」を展開し、横断歩道での車両の停止率の向上を目指す等、交通ルールとマナーの向上に取り組みます。						

数値目標 ③ 【評価】 建設部長	指標名	交通安全対策の整備に対する市民満足度				目標種別	↷
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2.58 /5	2.62 /5	2.66 /5	2.70 /5	
	実績	2.55 /5	— /5	2.70 /5	—	—	
	評価	—	—	S	—	—	
今後の方針	引き続き、地元住民・警察・学校と連携した交通安全施設等の整備に努めます。						

関係所属	
地域安全対策課・建設保全課	

5. 安全・安心な生活 ②防犯対策と消費者保護の充実


部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
環境生活部長 (田畑吉隆)	令和3年の刑法犯認知件数は、前年の813件から651件となり、年々減少傾向にあります。特殊詐欺等被害件数は昨年と同じく8件となっています。	
	▲ <令和3年度 実行宣言>	
	交通死亡事故ワースト上位脱却、犯罪のない安全・安心なまちをめざします。	
	令和4年度 実行宣言	
	犯罪のない安全・安心なまちをめざし、刑法犯認知件数の減少傾向を維持します。	

部局長名	令和3年度の評価	☆☆
産業文化部長 (川村浩稔)	「消費生活センター相談件数」が前年度比13%減となるなか、「消費生活センター解決度」が前年度から0.6ポイント上がっていますが、これは相談内容が年々時間がかかる傾向にある中、研修等の充実によりスキルアップした相談員及び職員が、1件あたりの対応にしっかり時間をかけて対応できたことによるものと思われま。	
	その一方、「特殊詐欺件数」は前年度と同数で低下していないことから、「消費センター相談件数」の低下は消費トラブルが減少した訳ではなく、コロナ禍により出前講座等市民への悪質商法に対する正しい知識や対応方法の周知が行き届かなかったことと考え、評価は星2つとしました。	
	▲ <令和3年度 実行宣言>	
	—	
	令和4年度 実行宣言	
	消費生活センターでの相談窓口が消費者被害防止につながることを周知啓発するとともに、ニーズにあった相談対応に努めることで悪質商法による消費者被害を未然に防ぎます。	

施策の進捗状況							
数値目標 ① 【評価】 環境生活 部長	項目	刑法犯認知件数（自転車盗）（1月～12月）				目標種別	↘
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	157 人	148 人	139 人	130 人	
	実績	165 人	93 人	80 人	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
	今後の方針	出前講座やホームページ等での発信を行い、警察等関係機関としっかり連携を図る等、刑法犯認知件数のさらなる減少に取り組みます。					
数値目標 ② 【評価】 環境生活 部長	項目	特殊詐欺件数（1月～12月）				目標種別	↘
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	7 件	7 件	6 件	5 件	
	実績	7 件	8 件	8 件	—	—	
	評価	—	E	E	—	—	
	今後の方針	特殊詐欺等被害防止を目的に製造された機器購入の際の補助金の交付や各種啓発活動により、高齢者の特殊詐欺等被害防止に取り組みます。					
数値目標 ③ 【評価】 産業文化 部長	指標名	消費生活センター相談件数				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	1,287 件	1,308 件	1,329 件	1,350 件	
	実績	1,266 件	1,343 件	1,165 件	—	—	
	評価	—	S	E	—	—	
	今後の方針	出前講座などの消費者啓発を効果的に進め、消費生活センターへの相談が消費者被害やトラブルを未然に防ぐことにつながることを周知していきます。					
数値目標 ④ 【評価】 産業文化 部長	指標名	消費生活センター解決度				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	98.7 %	98.8 %	98.9 %	99.0 %	
	実績	98.6 %	98.5 %	99.1 %	—	—	
	評価	—	E	S	—	—	
	今後の方針	消費者相談は年々複雑かつ巧妙化していることから、日頃から専門的な研修やセミナー等に参加し、さらなる知識向上を図ることで、常に変化に対応した相談業務に努めていきます。					


関係所属	
地域安全対策課・商工政策課	

5. 安全・安心な生活 ③防災・危機管理対策の充実

部局長名	令和3年度の評価	☆☆
防災対策課長 (北川高宏)	<p>「松阪防災の日」「松阪防災週間」制定後の初年度として、持続的防災啓発と地域の防災体制の強化に取り組み「自助」「共助」の意識を高めました。コロナ禍の中、啓発冊子「災害にそなえる」を刷新し市民へ最新の防災情報を周知、「松阪市防災訓練」では地域の防災リーダー育成を目指し、感染症対策を踏まえた避難所運営等の実践的訓練を実施しました。一方、研修会を開催するなど「地区防災計画」の策定支援を行ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響で地域での会議等が中止となり計画策定完了の目標達成には至りませんでした。</p>	
	 <p>＜令和3年度 実行宣言＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で作る「地区防災計画」の策定支援・完了を5地区で実施します。</li> <li>・感染症対策を強化した避難所運営マニュアルを基にコロナ禍における適切な避難所運営を目指します。</li> </ul>	
	令和4年度 実行宣言	
	<p>引き続き「自助」「共助」の意識を高めるために、持続的防災啓発と地域の防災体制の強化に向け取り組みます。地域で作る「地区防災計画」の策定支援を新型コロナウイルス感染症の影響も考慮しながら、策定完了地区の目標達成を目指します。またコロナ禍における適切な避難所運営を目指します。行政が大規模災害時にやるべきことを記述した「松阪市業務継続計画（BCP）」について検証を行い、課題解決に向け取り組みます。</p>	

施策の進捗状況							
数値目標 ① 【評価】 防災対策課長	指標名	災害に対する備えをしている市民の割合				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	43.6 %	45.7 %	47.9 %	50.0 %	
	実績	41.4 %	43.4 %	40.6 %	—	—	
	評価	—	A	E	—	—	
今後の方針	地域での出前講座などの機会を利用し、日頃の備えの必要性について啓発に努めます。						
数値目標 ② 【評価】 防災対策課長	指標名	市の防災対策への市民満足度				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2.87 /5	2.91 /5	2.96 /5	3.00 /5	
	実績	2.82 /5	— /5	2.87 /5	—	—	
	評価	—	—	C	—	—	
今後の方針	出前講座や防災訓練などにより地域の防災体制を強化し「自助」と「共助」の意識を高めます。						
数値目標 ③ 【評価】 防災対策課長	指標名	木造住宅耐震診断の受診割合(累計)				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	30.0 %	33.4 %	36.7 %	40.0 %	
	実績	26.7 %	29.5 %	36.0 %	—	—	
	評価	—	B	S	—	—	
今後の方針	地震から市民の命を守るため、住宅の耐震化など地震対策を進めます。						
数値目標 ④ 【評価】 防災対策課長	指標名	地区防災計画の策定(累計)				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	7 地区	12 地区	17 地区	22 地区	
	実績	5 地区	7 地区	7 地区	—	—	
	評価	—	S	E	—	—	
今後の方針	地区防災計画策定セミナーや地域での出前講座の機会を利用し、コロナ禍でもより多くの地区に策定いただけるよう支援方法を検討します。						
関係所属							
防災対策課							

5. 安全・安心な生活 ④消防力の充実

部局長名	令和3年度の評価	☆☆
消防団事務局長 (松本芳昭)	松阪市消防団の活動環境の充実を図りました。	
	 <令和3年度 実行宣言> 松阪市消防団の活動環境の充実を図ります。	
	令和4年度 実行宣言 あらゆる災害に対応できる松阪市消防団をつくります。	

施策の進捗状況							
数値目標 ① 【評価】 消防団事務局長	項目	消防団員数				目標種別	→
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	1,293人	1,293人	1,293人	1,293人	
	実績	1,293人	1,251人	1,224人	—	—	
	評価	—	E	E	—	—	
	今後の方針	消防団員の処遇改善や消防団員の任用要件を拡充し、消防団員が活動しやすい環境の整備を行ったことで、消防団員の確保や新入団員の増加を期待するとともに、引き続き様々な媒体を活用し、積極的な広報活動を行い、消防団員の確保に取り組みます。					
数値目標 ② 【評価】 消防団事務局長	項目	消防団協力事業所の認定数				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	31 事業所	32 事業所	33 事業所	34 事業所	
	実績	30 事業所	30 事業所	28 事業所	—	—	
	評価	—	E	E	—	—	
	今後の方針	被雇用者である消防団員が入団しやすく活動しやすい環境づくりのため、引き続き事業所に働きかけを行い、1事業所でも多く認定できるよう取り組みます。					
数値目標 ③ 【評価】 消防団事務局長	指標名	耐震性貯水槽数				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	161 基	161 基	161 基	161 基	
	実績	157 基	161 基	161 基	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
	今後の方針	目標を達成したことから、今後は、新規と修繕等の両面から精査していきます。					

関係所属	
消防団事務局	

5. 安全・安心な生活 ⑤ 浸水対策の充実

部局長名		令和3年度の評価				☆☆☆	
建設部長 (伊藤篤)		河川や水路の氾濫を防止するため、未改修河川の改修や排水能力が不足する水路の整備について、三重県及び下水道と連携し継続した浸水対策事業の実施によって、災害に強いまちづくりに取り組みました。また、流域が広範囲となる国・県管理河川の洪水は、甚大な被害が想定されることから、関係市町と協力して、国土強靱化に向けた国、県所管のインフラ整備を促進し、ストック効果が高まる河川整備要望を行いました。さらに、樋門・樋管、排水ポンプ場などは、確実かつ迅速に運転操作が出来るよう、定期的な施設の更新整備や関係自治会等への操作委託により安全安心な生活空間の維持に努めました。					
		▲ <令和3年度 実行宣言> ・国、県所管のインフラ整備を促進し、ストック効果を高めめます。 ・災害に強いまちづくりと市民の健康管理や憩いの場の整備を進めます。 ・安全で快適な生活空間の維持管理に努めます。					
		令和4年度 実行宣言					
		市管理河川等については、引き続き、計画的な河川改修や排水路整備を進めながら、国・県管理河川については、国土強靱化の推進を図るため、流域治水を基本とした河川改修要望や特定都市河川の指定について、国・県と連携を図ります。					
部局長名		令和3年度の評価				☆☆☆	
上下水道事業 管理者 (長谷川浩司)		愛宕川雨水管渠詳細設計に基づき、雨水枝線管渠の整備を実施しました。					
		▲ <令和3年度 実行宣言> 床上浸水ゼロ（愛宕川流域）に向けて整備工事を進めます。					
		令和4年度 実行宣言					
		令和3年度に引き続き、床上浸水ゼロ（愛宕川流域）に向けて整備工事を進めます。					
施策の進捗状況							
数値目標① 【評価】 建設部長 上下水道事業 管理者	項目	浸水対策事業に対する市民満足度				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2.80 /5	2.84 /5	2.87 /5	2.90 /5	
	実績	2.77 /5	— /5	2.85 /5	—	—	
	評価	—	—	S	—	—	
今後の方針	・県と市の河川部局と下水道部局の連携強化によって総合的な雨水対策を継続して行います。 ・令和7年度までに順次、雨水枝線管渠の整備を実施していきます。						
数値目標② 【評価】 建設部長	指標名	排水ポンプ及び樋門（15施設）の大雨時の稼働率				目標種別	→
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	100%	100%	100%	100%	
	実績	100%	100%	100%	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	引き続き、定期点検の実施と計画的なポンプ場等の設備更新により、確実な施設の稼働に努めます。						
関係所属							
農村整備課・建設総務課・土木課・建設保全課・上下水道部							